

これが魂のタックル！ 関東学院大を圧倒27-7

1月15日
土曜日
2000年
(平成12年)
PM 9:00

日刊スポーツ
NIKKAN SPORTS



無敵の王者
14年ぶり学生時代の頂点初の単独優勝

大学日本一だ！慶大の高田主将はフライングに胴上げされ喜びを爆発させた。右上はノーサイドの瞬間雄叫びをあげる慶大フライング。右下は後半慶大初のトライを右スミに決めた浦田

創部100周年メモリアルイヤーに「若き血」が国立にこだまする

第36回ラグビー大学選手権
慶大が14年ぶり3度目の大学王者に輝いた。3連覇を目指す関東学院大と、逆転に次ぐ逆転で勝ち進んできた慶大とのラグビー大学選手権・決勝が15日、東京・国立競技場で行われた。先手を取ったのは慶大。前半開始早々からの栗原（3年）の4連続PGで12点リード。前半終了直前に関東学院大の吉岡（4年）にトライされたが、後半は「魂のタックル」で関東学院大の攻撃を完封した。慶大は後半に2つのトライを重ね、結局27-7で勝利し、創部100周年にふさわしい花を添えた。なお、慶大の単独での優勝は初。

15日 国立			
慶大	27	{ 12 - 7 15 - 0 }	7 関東学院大
前後計		計後前	
0 2 2	T	1 0 1	
0 1 1	G	1 0 1	
4 1 5	P	0 0 0	

